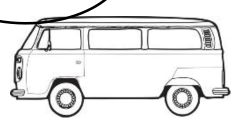
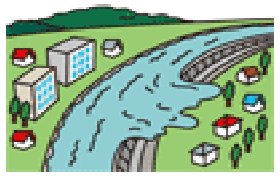
小鯖自治会・社協合同研修視察 In 萩



2月17日(火)に18名の参加で、自治会・社会福祉協議会の研修視察が行われ、萩市小川(田万川地域)にある特別養護老人ホーム『阿北苑』を訪問しました。

時期的に衛生面を考慮して苑内の見学は遠慮し、研修室で、平成25年7月28日に発生した豪雨による災害時の様子や、その時に施設の取られた対応について詳しくお話をうかがいました。



壊れた扉から一気に水が流れ込んできたため、ベッドを最大限上げて利用者さんを複数名乗せ、水が引いた後、館内で一番高いホールに全てのベッドを移動されたそうです。

災害発生時が日中であったこと、日曜日でデイサービスがお休みだったこと、男性職員が2名と消防団が2名いたこと等いろいろな要因が重なったおかげで助かったと言われていました。

昨年、女性だけでどれくらいベッドを移動できるか等、この時の教訓を生かした訓練を月1回のペースで行われたそうです。また、高い場所に物を保管するようにしているということでした。

我々も今後より一層、防災意識の向上と共助体制の強化に努めてまいりたいと思います。

午後は、吉田松陰生誕の地を訪れた後、松陰神社にお参りをして帰路に就きました。

3月度小鯖っ子見守り隊情報

通常以外の下校時間の目安

★19日(木)	卒業式	11:40 一斉下校
★20日(金)	1~3年生	15:10 下校
	4~5年生	15:50 下校
★26日(木)	終業式	11:40 一斉下校

自治会・社会福祉協議会・地域づくり協議会等の「定例総会」を4月24日(金)に開催する予定です。

編集後記:今月は、さばろっちが初出張しました。今後もっと知名度を上げるため、どんどんアピールしていきます。

小鯖地域づくり協議会だより

正田山

第63号 (平成27年3月1日)

山口市下小鯖2519番地
小鯖地域交流センター内
TEL/FAX (083)927-2263
(メール) osabacsk@c-able.ne.jp
(ホームページ) http://www.c-able.ne.jp/~osabacsk/

キャッチフレーズ:【自然豊かで 安心して暮らせる小鯖】

第4回 あいさつ標語決定!!

小鯖小学校児童より156点、一般より14点の応募を頂き、1月29日審査の結果、下記の10点の作品が入選されました。あいさつ日本一を目指す小鯖小学校と地域ぐるみで取り組みましょう。

なお、標語は後日看板にして掲示します。

★児童の部

あいさつを するとじぶんも げんきでる	1年	にしむら としまさ
さわやかな 朝のはじまり 元気よく	2年	まつなが ゆう花
あいさつで 友だちできて いい気もち	3年	清水 優衣
あいさつで 心と心が つながれる	4年	山口 瑚白
あいさつで その日が はじまるよ	5年	三浦 大輝
あいさつで 親しむ地域 広がるよ		小田 凌眞
あいさつを 元気にしよう 大声で	6年	鰐石 聖也

★一般の部

挨拶で 小鯖の里に 輪が開く	上鯖山	宮崎 美佐子
当地自慢の 宝物 それは優しく明るい「あいさつ」です	9区	米原 一穂
あいさつは 心の鏡 笑み添えて	8区	藤井 克己

さばろっち♥小学校で大人気!!

2月5日、小鯖小学校の第42回竹馬大会に、小鯖のゆるキャラ『さばろっち』が登場しました。

さばろっちと一緒に集合写真!!

軽トラの荷台で…
最高の眺めだよ!!

豊寿会の皆さん、
ご苦労様でした!!

今年度２回目の小鯖防災研修を実施！

小鯖防災研修も回を重ね、今回で６回目を数えますが、その都度各自治会からたくさんの方が参加され、自主防災に対する認識が高まっていることを実感します。また反面、責任の重さと自分のスキルを絶えず高めていく必要性を感じています。今回は災害時要援護者の支え合いマップによるワークショップを開催しましたが、想定上とは言え真剣に取り組まれてその対応力は高いと思います。災害はいつどのように起こるかわかりませんが、日頃の備えは必要です。支え合いマップは定期的に更新しておく必要があります。

『災害は忘れた頃にやってくる　備えを怠ることなかれ』　　　　安心安全部会長　　手嶋 如水

地域ごとのグループでワークショップを行い、要支援者を安全に避難させてあげられるよう話し合いました。

要支援者への連絡⇒準備する物の確認⇒避難場所へのルートの安全確認⇒自治会長，身内等への連絡、その他多くの意見が出ました。

ワークショップ後、山口県立医療センター　中村裕明様、リハビリテーション病院　吉岡正昭様にご指導いただき、車いすを使った避難の仕方を実際に体験しました。

車いすの乗せ方

声かけが大事!!

事前にフットプレートは必ず上げておく!!（転倒させてしまいます…）

土のうを使って段差での押し方

後ろ向きで進みます!!

キャスター上げのステップを足で押して、前を上げ、そのまま下がっていきます。

階段がある場合の押し方

上りは正面から

下りは後ろ向きに

タイヤを地面から離さず、ゆっくりと下ろす。

坂道での押し方

正面からだと恐怖を与えてしまうそうです。

後ろ向きで下ります。

ブレーキが付いているものは注意して！

左右の力の入れ方が違うと転倒の恐れがあります。

参加者へのアンケート結果では、96%の方が参加して良かったと回答されました。また、“具体的にどうすればよいのか分かった” “体験に勝る研修はない” “対象者を変えて何度も行ってほしい” “防災に対してのマニュアル等があればよい“ “避難訓練を行ってほしい” その他、多くの感想やご意見をいただきました。

自助(自分でできること)・共助(地域の組織)・公助(市の機関等)そして何よりご近所

交流センター駐車場を広げましょうか!

小鯖地域交流センター駐車場につきましては、２～３の講座が重なるとすぐに満杯状態となる恒常的な不足状態が続いております。そこで、近隣に適当な場所がないか探しましたが、諸事情で課題もあり、現駐車場を拡幅整備することが最も現実的な解決策になるとの結論に至りました。

つきましては、昭和３年に御大典記念として建立された「百万一心」の碑及び同年篤農家としての多年の功労と斎田藩種米に選定された栄誉をたたえた「伊藤音一翁功績之碑」の二つの碑を移設することを提案いたします。

また、体育倉庫やバス車庫の建物の移動もできればと考えております。

このことについて、ご意見のある方は事務局までご連絡ください。

（電話/FAX　927-2263）

忠魂碑

記念碑は、この場所に移設予定です。

正田山

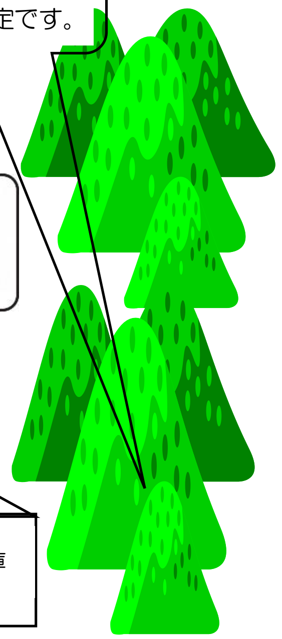
「百万一心」の碑

倉庫と車庫は、この辺りに移動させる予定です。

P 駐車場

ツツジや梅の移植は非常に難しいとのご指導を受けて、植物は廃棄する予定です。

バス車庫



体育倉庫

伊藤音市翁功績之碑